

大会名 Competition	第30回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-104	Year Month Day Time 2017 年 5 月 3 日 15 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB										
洛 南	<table border="1"> <tr><td>16 1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>22 2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>27 3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>19 4th</td><td>30</td></tr> <tr><td colspan="2">E P</td></tr> </table>	16 1st	20	22 2nd	15	27 3rd	13	19 4th	30	E P		開志国際
16 1st	20											
22 2nd	15											
27 3rd	13											
19 4th	30											
E P												
84 ○		78 ●										

主審:Referee 小野寺浩 秋田
副審:Umpire 水木順仁 秋田
中道凌平 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials 大館国際高男子

No.	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	大橋 大空		-	-	-	-	0	4	伊藤 領	CAP	8	1	2	1	5
5	小西 聖也		9	0	2	5	2	5	中山 星磨		0	0	0	0	0
6	津田 誠人	cap	19	1	6	4	4	6	高嶋 淳次		-	-	-	-	0
7	田中 智也		8	0	4	0	1	7	山口 蓮		-	-	-	-	0
8	長崎 淳志		-	-	-	-	0	8	四竈 純		-	-	-	-	0
9	中村 樹		-	-	-	-	0	9	津田 優弥		-	-	-	-	0
10	笹山 陸		16	3	2	3	0	10	中澤 嶺		2	0	1	0	1
11	飯尾 文哉		17	0	8	1	1	11	小栗 瑛哉		0	0	0	0	1
12	納土 修汰		8	0	4	0	2	12	清水 瑠衣		0	0	0	0	3
13	福島 大智		-	-	-	-	0	13	和田 蓮太郎		9	1	3	0	1
14	青木 豊志		-	-	-	-	0	14	JOOF YUSUF		41	1	17	4	4
15	星川 堅信		7	1	2	0	0	15	BABACARR. S NYASSI		-	-	-	-	0
16	井ノ元 幸多朗		-	-	-	-	0	16	小池 文哉		6	2	0	0	2
17	北橋 岳洋		-	-	-	-	0	17	吉川 瑠		9	3	0	0	1
18	伊関 傑		-	-	-	-	0	18	相馬 迅		3	1	0	0	2
コーチ	吉田 裕司						0	コーチ	富樫 英樹						0
アシ	河合 祥樹						0	アシ	津野 祐樹						0
合計			84	5	28	13	10	合計			78	9	23	5	20

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking [Team]

1	19	22.62%	津田 誠人
2	17	20.24%	飯尾 文哉
3	16	19.05%	笹山 陸

1	41	52.56%	JOOF YUSUF
2	9	11.54%	和田 蓮太郎
2	9	11.54%	吉川 瑠

Score ranking [Game]

1	41	JOOF YUSUF	開志国際	2	19	津田 誠人	洛 南	3	17	飯尾 文哉	洛 南
---	----	------------	------	---	----	-------	-----	---	----	-------	-----

1Q、洛南#6津田の速攻が決まる。バスケットカウントのワンローも決めて3点を先制する。対する開志国際は、#17金谷が連続3Pを決め応戦する。その後、洛南は早い展開で得点を重ね、開志国際は#14 Yusef、#13和田のインサイドにボールを集めて加点し、16-20の開志国際4点リードで終了。

2Q、お互い得点が伸び悩む中、残り7分17秒、洛南のタイムアウト。その後、開志国際は#14 Yusefにボールを集め、4連続ゴールを奪いリードを広げる。一方洛南はインサイドを固めるため、3-2ゾーンにディフェンスを切り換え流れを止めることに成功。オフェンスでもスクリーンでノーマークを作り、ゴール下に切り込んでシュートをねじ込む。オフェンスリバウンドにも積極的に絡み、残り4分から得点を重ねて逆転に成功し、38-35で終了。

3Q、粘り強い洛南のディフェンスに開志国際のオフェンスが単調になり得点できない中、洛南は途中出場の#10笹山の3Pやドライブ、#11飯尾の速攻で得点を重ねる。57-46となった残り3分54秒、開志国際はタイムアウトで流れを変えようとするが、洛南のペースは変わらず、65-48洛南17点リードで終了。

4Q、洛南が残り6分19秒まで無得点に抑えられる中、開志国際は#18相馬、#16小池の3Pや#14Yusefのゴール下で得点し点差を詰める。苦しい洛南だが、フリースローを確実に決め10点差をキープする。残り2分を切り、開志国際はフルコートのプレスディフェンスをししかけて6点差まで迫るが、最後は洛南が振り切り84-78で洛南が勝利した。